

花盛りNPO & NNGO



ボランティア活動とまちづくり

NPO練馬まちづくりの会理事
石神井公園まちづくり協議会副会長
下河 秀行

☆昨年は「ボランティア国際年」で世界的にボランティア活動が目された年でした☆
☆が、現在医療・介護・まちづくり・スポーツ・音楽・環境・子育て・教育・福祉な☆
☆NPO法人(特定非営利法人)が、今年の一月十一日現在で全国に五、七七九団☆
☆体あり、NGO(非政府組織)と共に、まさにボランティア活動花盛りといった感☆
☆じである。ここでは今話題のNGO活動は別に置き、個人が関わっているNPO☆
☆を中心、ボランティア活動とその意義を考察してみることとした。 ☆

地域に密着したまちづくり活動

NPO法人「練馬まちづくりの会」

私が住む練馬区は、昭和二十三年八月一日板橋区から分離独立した東京都二三番目の区制をひいた街です。

練馬区が分離独立したのは東京都で二三番目ですが人口は世田谷区の八〇万人に次ぐ六七万人で二番目の人口集中都市です。

一つの区で福岡市の約半分にもなり、これだけ大きな練馬区ですから勿論の色々問題を抱えています。

昔、練馬の地名を全国に広めたのが「練馬大根」ですが、今は殆ど見かけません。

よい環境、より住みよい練馬を目指して、私ども「練馬まちづくりの会」(正会員三十名、メンバーは大学院生から中高年者まで様々)は、九七年から地域活動を始めて、今年六年目に入ろうとしています。九九年九月にNPO法人の認定を受ける。まず一流講師による「まちづくりセミナー」を5

回連続で行って大変好評でした。

このセミナーを始めとして、「まちウォッチング」をやったり育英高専や石神井児童館と共同で環境にやさしいソーラーカー(A.T.(Community Assist Transporter)の略称で地域社会を手助けする輸送機関の略)を制作して、石神井や早稲田や外の街に出掛けて種々のイベントを行っています。

このCATの走行を石神井公園・春の「照姫まつり」や商店街のイベントに併せて行ったりして、街の人々のまちづくりに対する思いを聞いたり、アウトリーチ活動したりして、今後の活動に生かしていくことにしています。子供や身体の不自由な方や高齢者から、大変喜んで頂いています。将来、このソーラーカーを実用化して、狭い街を走らせることが私たちの夢です。今後これらのことを通じて「まちづくり」の提案を積極的に進めて行きます。

このほか、各種イベントの開催をしたり、ウォカブルタウンの提案、まちづくり活動のネットワークづくりをしたり、練馬区の

都市マスタープラン策定への市民参加をしたりして積極的に活動しています。最終的には行政との協働事業が狙いでもあります。
<http://www.dab.hi-ho.ne.jp/airina/>

安心して歩けるまち

石神井公園駅周辺地区まちづくり協議会

一昨年八月、練馬区が立ち上げた「石神井公園駅周辺地区まちづくり協議会」は、町内会、商店街の会長・理事長が計十名、区民の一般公募者から十名の合計二十名から構成されています。

石神井公園駅周辺二七号は、「道路が狭くて安心して歩くことが出来ない」という共通の認識に立っています。

この地域のまちづくりのために、私共、協議会委員の殆どが仕事を抱えながら、既に全員協議会を十五回(述べ七十五時間)分科会や勉強会やワークショップやアウトリーチ活動を約百時間余りやって来ました。まちづくり協議会は、全体討議の協議会と

- (A) 交通
 - (B) 住環境
 - (C) まちの活性化
 - (D) 地域コミュニティ
- の4分科会から構成されています。
- 石神井公園駅周辺地域は、密集している上、道路が狭くて危険であると言うのが最重要課題で、この解決策が問われています。何と言っても「交通・住環境」問題に最も時間をかけて検討してきました。
- 一、「交通」について
 - A、西武池袋線石神井公園駅の連続立体交差化(高架)事業の促進。
 - B、都市計画道路の是非。

- C、歩行者空間の創出のための路上荷捌きの路外転換(今春、交通社会実験済)
- D、駅前広場の一体的な整備拡充。
- E、バリアフリー対応(ユニバーサルデザイン)によるまちづくり(特に駅舎・公共の施設・商業施設・舗装等の改善)。
- F、危険な富士街道の整備。
- G、交通障害となっている商店街の電柱の地中化などが課題として挙げられた。

- 二、「住環境」について
 - 有効な土地利用の観点から意見が出て、石神井らしい土地利用のあり方や、めざすべき街並みのイメージ、緑地や公園の保存創出、街並み・景観、防犯・防災など。
 - 三、「まちの活性化」について
 - A、地域文化を活かすために
 - B、自然と環境にやさしくするために
 - C、商店街を活性化するために
 - D、安心して暮らせるようにするために
 - 以上、四つの視点から活性化を検討した。
 - 四、「地域コミュニティ」について
 - A、目標とする地域コミュニティ像
 - B、地域活動に係わる課題と対応の方向
 - C、豊かなコミュニティ創造機能
 - D、行政に期待する役割
- などの具体的な提案がありました。
- 多くの支援会員や傍聴者を抱き込んだ議論は、百家争鳴で大変盛り上がり、住民参加のまちづくりへの意欲を肌で感じることが出来ました。去る4月、練馬区長へ具体的な「石神井のまちづくり」についての提案を致しました。
- 練馬区は住民主体のまちづくり先進国です。
<http://www5.freeweb.ne.jp/area/shakuzi/>